

ThorensTD124 の活用(4)

—Autograph MINI—

1. 始めに

前報(3)に引き続き、Autograph MINI のシステムで聴いていきます。

2. ThorensTD124 の試聴方法

ThorensTD124 と Garrad401 の再生は、前報(1)のとおりです。

Autograph MINI の駆動アンプの PX-25 シングルには TruPhase から ExProSV-1 経由で入力します。



Autograph MINI

ThorensTD124 の音源は下記とします。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー：ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

Garrad401 の音源は下記とします。

ARCHIV(日本ポリドール) 28MA 0020

J.S.Bach チェンバロ協奏曲

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュコンサート
キングレコード SKA-104

愛と自然の歌

倍賞千恵子

2. ThorensTD124 の試聴結果

ThorensTD124 の *Sonatas & Partitas* は、Milstein の艶のあるヴァイオリンの芯のしっかりしたボウイングが伝わってきます。

ワルキューレは、スピーカーのサイズからしてスケール感は望むべくもありませんが、意外にしっかりしたミニオーケストラのかたちは整えてくれます。

Garrad401 のチェンバロ協奏曲は、こぢんまりとまとまったバロックアンサンブルでタンノイらしい優雅な趣のあるおとです。

倍賞千恵子は、スピーカーのサイズの割には、伸び伸びと歌唱のニュアンスもしっかり伝わりました。

4. まとめ

ThorensTD124 は、プレイヤー、トランス、真空管式のフォノイコなどの効果に加えて、PX25 というレトロな真空管とタンノイという組み合わせで、肌理の細かいまとまった音がしていますが、スケール感には届かないところがあります。

Garrad401 は、ZANDEN Model120 の効果で、PX25 のシングルアンプ駆動ながら、タンノイらしい明晰で肌理の細かさもでています。

以上